東京東村山ロータリークラブ　国際ロータリー第2580地区

週報

国際ロータリー テーマ
奉仕を通じて平和を

Vol.46　第2229回例会　2012.9.6

今年度会長テーマ　和で輪を広げ、前に進もう

■司会：
野澤例会運営
副委員長

■点鐘：中丸会長

■国歌：「君が代」
■合唱：ロータリーソング
「奉仕の理想」
◆ソングリーダー：
村田会員

■会長報告　中丸会長

皆さんこんにちは。
残暑も今週でひと段落となり、来週からは以前のような残暑は無くなるとの予報が出ています。ただ夏の疲れが出てくる時期となりますので、会員の皆様には健康に十分ご留意頂きたいと思います。
本日はやや空席が多く見受けられます。皆さんご都合もあるかと思いますが例会には出席をお願い致します。また欠席の場合は必ずメークアップをお願い致します。

それでは昨日午後6:30から行われました理事会の報告をさせて頂きます。

1.8月の収支明細報告について
金子会計より説明があり、報告書通り承認されました。

2.ガバナー公式訪問前クラブ協議会について
10月25日(木)に山田ガバナー補佐と松村分区幹事が来訪されます。通常例会の形式で卓話の時間をクラブ協議会にしますが、約1時間の時間が必要となりますので11:30集合・食事、12:00点鐘、12:30クラブ協議会とする事に決定しました。
11月15日(木)にガバナー公式訪問が予定されていますが、当日は通常の例会と同様とし、石川ガバナーが卓話をする形式となって居ります。例会終了後、例会場で写真を撮ることとしました。

3.多摩分区ＩＭについて
10月18日(木)にフォレストイン昭和館でＩＭが開催されます。このフォーラムのテーマは「温故知新」と決定されています。当クラブは"「温故知新」青少年に夢と希望を"をテーマとして野村クラブ奉仕委員長に発表をお願いすることに決定しました。

4.「東ヶ崎潔記念ダイアログハウス募金」協力のお願いについて
クラブとして募金に対応するのではなく、各個人の対応として決定しました。募金方法等の詳細は事務局にお問い合わせ下さい。

5.その他
10月28日(日)にＦＲＣ合同例会が開催されます。
この為11月1日の例会は休会とする事に決定しました。

■幹事報告　赤木幹事

■例会日／毎週木曜日　12:30～13:30
■例会場／八坂神社　社務所
〒189-0013　東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／石山　敬
■事務所／〒189-0013
東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL　042-393-7500　　FAX　042-395-1166

■ロータリー囲碁同好会：
第11回ロータリー全国囲碁大会の案内について
2012年10月20日(土)
於　日本棋院会館　9:30～

■ガバナー事務所：
・「R財団地区補助金とグローバル補助金の授与と承諾の条件」について(2013年7月から有効)受理
・R財団より「クラブの参加資格認定：覚書」の公表について
次年度グローバル補助金プロジェクト申請のクラブのみ提出の事

■回覧：バギオ便り

■出席報告　相羽例会運営委員

在籍会員数	出　席	免　除	欠　席	出席率
31	22	0	6	78.57

■前々回メークアップ修正後前々会欠席：7名
■前々回出席率メークアップ修正後：74.07%
■前々会メークアップ者：
赤木会員：分区連絡会
目時会員：地区委員会
野澤会員：富士見ＲＣ
戸澤会員：地区委員会
漆原会員：所沢ＲＣ
山本会員：地区委員会

■ニコニコＢＯＸ　山宮クラブ管理委員

■会員誕生祝月：
目時会員、小町会員
中丸会長

■令夫人誕生祝月：
戸澤会員、山宮会員

■8月分会員誕生祝月：
山宮会員

◆中丸会長、赤木幹事：
飯田会員、本日の卓話楽しみにしています。よろしくお願い致します。
◆田中会員：猛者の集まるゴルフ大会で久しぶりに優勝できました。稼いだ賞金の一部をニコニコさせて頂きます。
◆相羽会員：飯田委員長、本日の卓話よろしくお願いします。
◆飯田会員：本日3分間スピーチ、卓話よろしくお願いします。

本日のニコニコ合計：　29,000円
累　　計　：　380,000円

■委員長報告

■小町会員研修副委員長

連日30度を超す暑さですが、皆様夏バテは大丈夫でしょうか。
水分の補給と休養は心がけてください。今、震災復興にかけて、あらゆるジャンルの方々が支援の手を差し伸べています。特に子供達への支援は心のケアーも含め大切です。ロータリーの友9月号・新世代のための月間です。新世代は未来のリーダーのテーマで全国のＲＣより海外も含め活動がＰ6～13に掲載されてます。子供たちの目の輝きと笑顔にはほっとさせられます。そして、シアトルの若いロータリーのリーダー達が先輩の応援を受けて未来に向けた計画を提案しているエピソードがＰ16～19に載っています。伝統を守りながら挑戦する姿勢に心打たれます。又、自然が日常生活に多くの恵みを与えてくれてます。時には猛威をふるい東日本大震災のような多大な被害が出ます。簡単な事ではありませんが自然と共存して生き抜いていくための大切さを縦書きのＰ2～6に兵庫の地区大会で記念講演された国際生態学センター長・宮脇　昭さんのい

のちの森を未来につなぐと題した講演内容が載っています。なるほどと納得します。最後に10月のＩＭでは我クラブの新世代のための奉仕活動が発表、紹介されると聞いてます、楽しみにしています。

■目時米山奨学委員会
委員長

皆さん、こんにちは。ご承知の通り今月は米山奨学生の月間になっていますが、卓話の方は当クラブの奨学生、朴さんに最終週の27日にお願いしてあります。今、地区の方から米山奨学会に対するＤＶＤが6種類出ております。これを無料で戴きましたので、事務局に置いておきます。内容のいいものもありますので、時間がとれましたらぜひ見ていただきたいと思います。個人的な意見ですが、地区の米山奨学会でよく話題に出るのですが、尖閣諸島と竹島の問題で中国や韓国と複雑な関係になっており、さまざまな違和感の意見を述べられる方もおりますが、それはそれとして、政治とロータリーは全く別です。資料の中に、中国や韓国の方が委員長になったりされていますので参考までにご覧になってみてください。

■田中例会運営委員長

こんにちは。中丸会長さん年度、出席率向上の為、会員誕生日、令夫人誕生日、結婚記念日、当時の新聞を例会当日の近い日にお渡しすることとしました。なお、遅くなりましたが皆様に今日お渡ししますので感動してください。生んでいただいた親御様、連れ添っていただいてます奥様に感謝して頂けましたら幸いです。以上です。

■嶋田会員

皆さん、こんにちは。皆さんにお願いです。今日お手元に東村山市「歴史とロマン」の会の紙面をお渡ししました。私は東村山市の歴史を後世まで伝えていこうという主旨で活動しております。最初は民家園を建設するということでしたが、民家園はもう建設できないということになってしまい、八国山たいけんの里にかわっております。その後を受けて東村山の歴史を伝えていこうとやっておりますので見ていただければ幸いです。毎年の例で会費を1,000円ずつお願いしております。次回から会費を集めさせていただきますのでよろしくお願い致します。主旨を汲んで頂いて重ねてお願い致します。

■３分間スピーチ

■飯田会員

皆さん、こんにちは。ご指名いただきましての3分間スピーチですが、大変緊張しております。スピーチでの緊張なのか、久しぶりの例会での緊張なのか、多分後者だと思います。

私の出生から現在に至るまでを簡単にお話ししたいと思います。私は東京都江東区豊洲で生まれました。父の仕事は、厚生省関東甲信越麻薬取締官で、母は昭和54年に東村山市本町で接骨院を開業しまして、現在に至ります。私が接骨院を継ぐきっかけになったのは、高校3年生の時に父が亡くなり、後を継がなくてはならないということもあり、本来6年間かかる学校を昼間は接骨院の学校、夜学に鍼灸、マッサージ科に通い3年で無事に卒業しました。将来接骨院で食べていけなくなると困るので、そのまま2年間、教員資格を取る為に学校に入り資格をとりました。修業時代は埼玉県の太田市で3年間修業をしました。

趣味は車、釣り、ゴルフ、旅行で、3年前からゴルフを始め群馬周辺で妻と週1回のペースで回っています。ハーフ40で回ることもあるし、50以上を叩くこともあります。特にドライバーが絶不調でブーメランのように曲がってしまいます。今後は80前後の安定したゴルフが出来るよう田中ゴルフクラブに入部させていただきたいと思います！

仕事はお陰様で至って順調です。デイサービスをやっているのですが、大変評判がよく、来年東村山の本町に2店舗目を開設する予定です。今後も高齢者の皆様が元気でイキイキとした生活が送れるよう精一杯お手伝いをさせて頂きます。また、先月には国家試験の認定審査委員に合格しましたので、学校業務は今年で終了となります。来年の4月からまた例会でお世話になりますので宜しくお願い致します。本日はありがとうございました。

■卓話

■卓話者紹介：
相羽プログラム委員長

こんにちは。今日は飯田先生に卓話をお願いしました。「新世代のための月間に因んで」ということでパワーポイントを使ってお話しいただけるそうです。よろしくお願い致します。

■新世代奉仕委員会
飯田委員長

あらためましてこんにちは。9月は新世代奉仕月間ということで、一昨日、銀座のフェニックスビルで2時間ほど全体会議をしてきました。内容はまず石川ガバナーの挨拶、新世代奉仕、インターアクト、ローターアクトの委員長から今年度の事業計画をいただきました。その後に、清瀬ＲＣにおけるローターアクトとしての共同事業として、川の清掃をやった後に新世代を取り入れたバーベキューを行っているとのことでした。また青少年交換の祖父江委員長より、今年度の事業計画をしていただき、会員の方より「青少年交換は非常に大変ですね」との声に、「決して大変ではなく、命を削ってやっております」とのお言葉でした。

また、新世代の中で、中学生の職場体験を取り入れてほしいとの話がありましたので、東村山ＲＣのところに中学生の職場体験の要望がありましたら、なるべく受け入れてくださいますよう私からもお願い致します。

それでは、新世代奉仕についてお話したいと思います。「新世代」とは、ロータリー家族の最も若い世代の人々を指し、その多くは、青少年を対象としたロータリーのプログラム(インターアクト、ローターアクト、青少年指導者養成プログラム[ＲＹＬＡ]、青少年交換)の参加者たちです。さらに、ロータリークラブや地区の活動に参加している奉仕志向の若者たちも含まれます。

「新世代」という言葉は、ルイス・ビセンテ・ジアイ元ＲＩ会長が初めて使いました。ジアイ元会長は、若い人々にロータリーのプログラムと活動にもっと参加してもらうことこそ、ロータリーの将来を確かなものとするためのカギであると信じていました。1996年のカルガリーＲＩ国際大会で、元会長は次のように述べ「成功と失敗を分かつ要素は、未来へのビジョンです。これは、かつてないほど真実であるといえます。新世代は未来への投資です。今日から、未来を築き始めようではありませんか」と述べておられました。

また、ロータリーの四大奉仕として、クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕が記されておりますが、2010年4月に開催された国際ロータリーの規定審議会において規定が改定され、今では新世代奉仕(以前は青少年奉仕と言っていた)を加えて五大奉仕となっています。

それでは「新世代奉仕」はどういうものなのでしょうか。「年齢30歳までの若い人すべてを含む新世代の多様なニーズを認識しつつ、よりよき未来を確実なものとするために新世代の生活力を高めることによって、新世代に将来の準備をさせること」をロータリアンの責務とし、すべてのクラブと地区は新世代の基本的ニーズを支援するプロジェクトに着手するよう奨励されています。基本的ニーズとは、健康、人間の価値、教育、自己開発であり、そのために国際ロータリーではインターアクト、ローターアクト、ＲＹＬＡ、青少年交換の四つの常設プログラムを用意しています。

当クラブでの取り組みは、中学生の野球大会や川の清掃活動、青少年交換の留学生の受け入れなどがあります。また、昨年と今年度は学生を集めたクイズ大会に協賛をしています。

2010年「新世代奉仕」はロータリーの第五の奉仕部門となりました。標準ロータリー・クラブ定款第5条に以下のように定義されています。「奉仕の第5部門である新世代奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである。」よって、新世代奉仕では、クラブの職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕プロジェクトにおける青少年や若者の参加を促進し、世代の支援を目的としたプログラムやリソースをクラブが積極的に提供していくことが重要です。

ローターアクトとは、18歳から30歳までの青年男女のための、ロータリーが提唱する奉仕クラブです。ローターアクト・クラブは通常、地域社会または大学を基盤としており地元のロータリークラブが提唱しています。ローターアクト・クラブは、提唱ロータリークラブの真の「奉仕のパートナー」であり、ロータリー・ファミリーの重要な一員です。ローターアクトは、ロータリーの中で最も顕著かつ急速に発展しているプログラムの1つです。170余りの国や地域に8,400以上のローターアクト・クラブがあり、世界各地で活動が行われています。ローターアクトのすべての活動は、地元の草の根レベルから始まります。ローターアクター(ローターアクト・クラブの会員)は地域社会のニーズに取り組みながら、友情と奉仕を通じて国際理解と平和を推進していきます。

また、ローターアクターはインターアクト・クラブとともに奉仕プロジェクトで活動したり、インターアクターの指導をしたり、ＲＹＬＡに参加することもできます。国際親善奨学生または研究グループ交換のチームメンバーにもなれますし、ローターアクト会員としての年齢制限を超えたら、地元のロータリークラブに入会する機会があります。

インターアクトとは、12歳から18歳までの青少年のための国際ロータリーの奉仕クラブです。インターアクト・クラブは、支援や指導を与えるロータリークラブが提唱して結成されますが、運営面でも経済的にも自立しています。クラブ会員の構成はさまざまです。男子のみ、女子のみのクラブもあれば、男女混合のクラブもあり、その規模も大小さまざまです。会員基盤は1つの学校の学生から集められる場合もあれば、同じ地域社会内の2つ以上の学校から成る場合もあります。

毎年、インターアクト・クラブは少なくとも2つの社会奉仕プロジェクトを行い、そのうち1つは国際理解と親善を推進するものとされています。プロジェクトを通じて、インターアクターは地元社会や海外のクラブと友情のネットワークを築きます。奉仕活動は、インターアクターの活動の真髄です。奉仕活動を行うことでインターアクターたちは次のような大切なことを学びます。

・指導力と人間としての高潔さ
・他者を助け、他者を尊重すること
・個人の責任と懸命に努力することの価値
・国際理解と親善を推進すること

ロータリーの奉仕の中で最も顕著かつ急速に発展しているプログラムの1つであり、109余りの国や地域にある10,700以上のクラブを擁するインターアクトは、世界的な現象となりました。現在、200,000人近くの若者がインターアクトと関わりを持っています。

次にロータリーの青少年交換についてお話します。ロータリー青少年交換に参加する学生は、最高で1年間、母国以外の国でホストファミリーと生活をともにし、学校へ通います。ロータリーの長期と短期の青少年交換プログラムによって、参加者は新しい生活様式、さらには新しい言語、そして自分自身についても多くのことを発見することとなります。また参加者は自国やその文化、自分の考えを出会った人々に伝える若き親善大使として、親しい友人を作りながら、世界を一つにする役割を担います。

75年以上にわたり続けられたきたロータリー青少年交換は、参加した学生とホストファミリーが視野を広げられるような貴重な体験を提供してきました。ロータリー青少年交換プログラムは、地域レベルではロータリーの地区、地元レベルではクラブにより運営され、毎年80以上の国々から8,000人以上の学生が参加しています。

グローバルな視点からも、社会奉仕活動などのボランティア活動に携わる人々からなるロータリークラブは高い道徳的水準を推進し、世界で平和と理解を広めるために活動しています。32,000以上のクラブに所属する120万人のロータリアンからなるネットワークが、青少年交換のために支援を提供します。

また、ロータリーは青少年と深くかかわる活動を行っています。青少年交換のほか、インターアクト、ローターアクト、ＲＹＬＡといった若者の奉仕クラブを後援し、職業開発や指導プログラムを提供しています。青少年交換といったロータリーの活動に参加するすべての人々のために、最も安全な環境をつくり、それを維持するよう最善を尽くします。さらに、ロータリークラブは、学生とその家族が負担する費用をできる限り抑えるために、地域単位でプログラムを管理運営しています。プログラムに携わる経験豊かなボランティアが、学生、ホストファミリー、プログラムにかかわるロータリアンを支援します。

最後になりますが、ロータリー青少年指導者養成プログラム（ＲＹＬＡ）について説明します。ＲＹＬＡは、ロータリーが実施する若者たちのための研修プログラムです。対象となるのは年齢14～30歳の青少年ですが、多くのクラブや地区では、14～18歳、19～30歳など、年齢層を絞って実施しています。ＲＹＬＡは、リーダーシップ、良き市民、人間としての成長を強調しています。ＲＹＬＡの目標は次の通りです。

・ロータリーの青少年への尊重や配慮を身をもって示すこと
・選ばれた青少年や潜在性を有する将来の指導者に対して効果的な研修を与えること
・青少年による青少年への指導を奨励すること
・地域社会に尽くしている青少年を公に表彰すること

次に「新世代の支援に係わっている方」についてまとめてみました。新世代と会員増強がつながっていくのではないかと考えております。活動の範囲を新世代へと広げることは、ロータリークラブの未来への投資です。地元の青少年や若者のつながりを築けば、将来の会員候補者の育成につながるだけでなく、若いパワーや新鮮な考え方を取り入れることによってクラブが若返ります。就職支援デーや個人指導プログラムなど、若者を対象とした職業奉仕や社会奉仕の活動を通じて、ロータリーの奉仕の理想を彼らと分かち合うこともできます。世界各地で新世代のロータリークラブも誕生しつつあります。

「新世代奉仕を奨励する」ということで、新世代奉仕への参加をクラブ会員に呼びかけるにはさまざまな方法があります。

・クラブ会報に新世代関連の記事を掲載する
・クラブのウェブサイトやソーシャルネットワークを通じて、新世代プロジェクトに関する情報を発信する
・インターアクト・クラブやローターアクト・クラブのプロジェクトについて紹介してもらうために地元メディアに連絡する
・新世代の支援に多大な貢献を果たした会員を表彰する

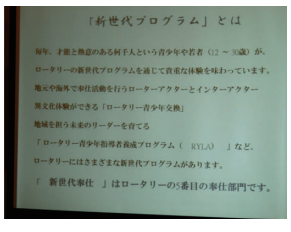
また、個人指導や就職相談、小論文コンテストといったクラブのプロジェクトは、新世代を支援するだけでなく、地元の青少年や若者にロータリーとその理想を知ってもらう機会となります。他にもさまざまな活動が考えられますが、特にインターアクターを地元ローターアクト・クラブに紹介したり、ロータリー青少年交換への参加の機会を提供するというのも一つではないかと思います。他にもローターアクターにRYLA行事のリーダーを務めてもらう、青少年交換奨学生に帰国後にインターアクト・クラブかローターアクト・クラブを立ち上げるよう奨励する、インターアクターまたは青少年交換奨学生を、地区のＲＹＬＡ行事の参加者として推薦する、などということもいいのではないかと思います。

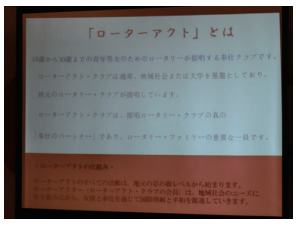
「新世代の奉仕プロジェクト」としては

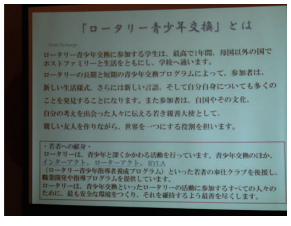
・ポリオ撲滅のための募金活動
・高齢者支援のボランティア
・町の清掃活動や美化活動
・慈善団体への古着や食糧の寄贈
・企業と協力して就職フェアを開催
・エイズ認識向上キャンペーン
・自転車を修理して児童養護施設に寄贈
・小学校で非行防止の指導

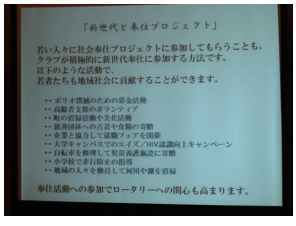
といった活動で、若者たちも地域社会に貢献することができます。

新世代とはどういうものか、インターアクト、ローターアクト、ＲＹＬＡ、青少年交換がどのような役割で行われているのか、ということを表面だけ流して説明しましたが、分かりにくくて申し訳ありませんでした。また、3年後、青少年交換留学生が東村山にくると思います。どこのクラブでも留学生が来た時にホストファミリーとして受け入れる家庭が大変少ないということで、当クラブでも来た時に悩まないよう、来年ぐらいにはホストファミリーのことを検討していきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。ご清聴ありがとうございました。









■点鐘：中丸会長